



# にじいろコラム Part 3

好評発売中!



発表会ピアノ曲集  
にじいろのおくりもの  
1巻：導入から初級程度  
2巻：初級程度  
3巻：初級から中級程度  
■各：菊信判/80頁~112頁/本体価格1,600円(税別)  
4巻：中級程度(4月発売予定)

寒い冬も終わり、希望の春がやってきました。四季の草花や色合いを楽しむことができる日本に生まれて、本当に良かったなと感じています。四季と言えば、『にじいろのおくりもの』の表紙イラストは、季節がテーマ。1巻は春、2巻は夏、3巻は秋、そして、4月新発売の4巻は、素敵な冬のイラストが登場します♪イラストレーター よねこめさんが描く、季節のモチーフやお花は、見ているだけでほんわか・あたたかい気持ちになります。あかね先生をはじめ、関係者一同心をこめて作り上げたこの曲集。春夏秋冬どんなときでも、みなさまのそばで少しでもお力になることができたらと、編集担当(ゆ)は願っております。さて、『にじいろのおくりもの』の中から、春に弾きたい曲を(ゆ)がチョイスしてみました! ぜひ楽器店で楽譜をお手に取ってご覧ください♪

## 1巻より かくれんぼ/シュモール レベル：導入から初級程度

思わず外でお友だちと遊びたくなるような、かわいらしい曲。「もういいかい」「まだだよ」「みつけた!」という言葉をもとにメロディにつけながら弾くと、さらに楽しいかもしれません。

## 2巻より 子リスのいたずら/春乃うらら レベル：初級程度

前半の軽快なメロディからは「春がやってきて嬉しい!」という子リスのウキウキした気持ちを感じます。後半、左手のメロディがかもしたすあやしい雰囲気は、子リスがいたずらをたくらんでいるのでしょうか。いろいろなストーリーを描くことができる、楽しい1曲です。

## 3巻より 明るい朝/マルセル・ピッチ レベル：初級から中級程度

おだやか、ほのぼの、やさしい気持ち。そういった言葉が似合う、あたたかい曲。ほかほかの日が差し込む部屋で、日常の忙しさを忘れてゆったり弾きたいですね。

### \*今月のセミナースケジュール\*

4/6(金): [愛知県/名古屋] 島村楽器 イオンモール大高店内奥スタジオ  
「楽しくおぼえる『おんぶ』と『けんぱん』のレッスン」

# 時代を知る ⑩ ヘルベルト・フォン・カラヤン 生誕110年



1900

2018年は、指揮者ヘルベルト・フォン・カラヤンの生誕110年。ベルリン・フィルやウィーン・フィルを指揮し、数多くの名盤を生み出した、20世紀を代表する指揮者のひとりです。2つの世界大戦、指揮活動禁止、3度の結婚……輝かしい実績の裏には、激動の人生がありました。10回目の『時代を知る』は、カラヤンの81年にわたる生涯をたどってみましょう。

カラヤン生(ザルツブルク) ケーゲン(アメリカ) 第一次世界大戦(1918年) モーツァルトテウム音楽院の生徒となる モーツァルトテウム演奏会にはじめて出演 パンスタイン生(アメリカ) ウィーン工科大学と音楽大学に入学、ピアノと指揮を専攻 ザルツブルクで指揮デビュー ウルム市立劇場でモーツァルト《フィガロの結婚》を指揮、同劇場と契約 アイヘンの音楽総監督に就任、ナチス党に入党 ガーシュウィン没(アメリカ)、ラヴェル没(フランス) ベルリン・フィルと最初の演奏会 エルミー・ホガレフと結婚 ドイツ・グラモフォン社と初のレコード契約 ベルリン国立歌劇場指揮者に就任 第二次世界大戦(1945年) エルミーと離婚、アニータ・ギュターマンと結婚 ラフマニノフ没(アメリカ) 西ドイツ・東ドイツに分断、オーストリア共和国誕生 楽友協会ホールでウィーン・フィルを指揮 指揮活動禁止を勧告される 指揮活動禁止が解かれる 楽友協会でベートーヴェン《交響曲第九番》を指揮 ウィーン交響楽団の首席指揮者に就任 楽友協会がカラヤンを名誉指揮者に選定 バイロイト音楽祭にはじめて出演 初来日、NHK交響楽団を指揮 ベルリン・フィルの終身芸術監督および首席指揮者に就任 ザルツブルク音楽祭の芸術総監督をつとめる(1960年) ベルリン・フィルと最初の日本演奏旅行 アニータと離婚、エリエツェ・ムウレと結婚 ウィーン国立歌劇場と決裂、退任 「コンモテル映画社」を創設(スイス) ベルリン・フィルと日本演奏旅行 ワーグナー《ヴァルキューレ》でザルツブルクの復活祭音楽祭をはじめ ベルリン・フィルとの聖霊降臨祭演奏会を創設(ザルツブルク) 早稲田大学から名誉博士号が授与される 女性クラリネット奏者の入団をめぐり、ベルリン・フィルと対立 カバレフスキー没(ロシア) ウィーン・フィルと楽友協会ホールで演奏、公の最後の演奏となる

1922年 ソヴェト社会主義共和国連邦成立

その前年、ベルリン・フィルのアメリカ旅行直前に急死した指揮者の代役にと懸念される

ナチス党員であることが理由

1941年~1945年 太平洋戦争

1964年 東京オリンピック開催

1970年代 日本でカラヤンブーム 最高潮!!

平成 昭和 大正 明治

【キーワード】  
オペラ/「楽壇の帝王」/交響曲/CD(コンパクト・ディスク)/指揮者コンクール/シオスタコーヴィチ/新ウィーン楽派/テレモンディアル/普門館/ブルックナー/ベートーヴェン/ミラノ・スカラ座/ワーグナー  
ドイツ人クラリネット奏者、ザビーネ・マイヤーを入団させたカラヤン vs 入団反対のベルリン・フィル

【おすすめのCD】  
R.シュトラウス：楽劇「ばらの騎士」全曲  
フィルハーモニア管弦楽団/フィルハーモニア合唱団/エリーザベト・シュヴァルツコップ (S) /オットー・エーデルマン (Bs) /クリスタ・ルーツヴィヒ (S) ほか  
録音：1956年  
WARNER MUSIC JAPAN / WPGS-10034

「年表」で時代を俯瞰した後、気になる「キーワード」を調べてみよう♪

# 教えて! チェルニーさん

Vol.2

黒田 篤志

## 訓練のための曲集【ではなく】効率的なハウツー本

チェルニーの練習曲をつまらなく感じる方は多いと思います。「効率的に基礎テクニックを身につけてほしい」というのが、おそらくチェルニーの考えでしょうから、練習曲を見る視点を変えて、取り組み方を工夫してみましょう。今回は、インタビュー形式でチェルニーさんにお話をうかがいたいと思います。

よろしくね! 黒田くん!



よろしく お願いします!

チェルニー 黒田

## 練習曲のイメージも転換しよう

黒田(以降(黒))チェルニーさんの練習曲は機械的で弾くのがつらいです。

チェルニー(以降(㊟))よく言われるけど、そうかなあ。装飾的な余計なものがないから、頭に入りやすいし応用もしやすいと思うよ。私の練習曲集のように、1冊で効率よくいろんな曲が弾けるようなエッセンスがまとまっているものは、なかなかないんじゃないかな。

(黒)たしかに。チェルニーさんの練習曲は単純明快ですから、効率的にテクニックを身につけることができそうです。

(㊟)練習曲の役割ってそういうものじゃないかなあ。あとは使い方次第! いろいろ工夫してみてください。

## 使い方も工夫しよう

(黒)何度も繰り返しがあるので、「うさぎ跳び」をしているようなイメージがあります。

(㊟)筋トレのような使い方はしないでほしいなあ。たとえば弾きたい曲の中に、私の練習曲のエッセンスを探して、そこだけ重点的に練習するとか。私の練習曲を演奏会の曲のようにすぐかっこよく弾いてみるとか。いろいろと取り組み方を工夫してほしいな。

(黒)なるほど! でも自分でやるならまだしも、生徒さんは飽きてしまいそう……。

(㊟)そうだなあ……。たとえば1段だけ速弾きに挑戦してもらおう、4小節だけ4回繰り返したら褒美をあげるなど、ゲーム感覚で取り組んでもらうのはどうかな。楽しませてあげるのはいいことだよ。コツは抜き出す部分を短くすること、取り組みに変化をつけることじゃないかな。

## 速度表示は目安と考えよう

(黒)ところで! メトロノーム表示が速すぎます!

(㊟)あれはその曲のテクニックがこなせたかどうかの指標のひとつだよ。私が生きた時代はメトロノームが開発された頃だから、使ってみたくなっただよね。だから最初から速弾きはしないで、遅くてもいいからまずは楽に弾ける速さからチャレンジしてみよう。慣れてきたら少しずつ速くしてもいいけれど、これもゲーム感覚でやってみたらどうかな。

# Music Quiz

Q ベルリオーズ、チャイコフスキー、プロコフィエフの3人の共通点は次のうちどれでしょうか?

- ① ロシア帝国生まれ
- ② ロマン派の作曲家
- ③ 『ロメオとジュリエット』を題材にして作曲している
- ④ 音楽と無縁の学校に通っていた

答え: ③『ロメオとジュリエット』を題材にして作曲している  
ベルリオーズは劇的交響曲、チャイコフスキーは幻想的序曲、プロコフィエフはバレエ音楽として、シェイクスピアの悲劇を題材とした『ロメオとジュリエット』を作曲しています。  
ちなみに、ロシア帝国生まれなのはチャイコフスキーとプロコフィエフで、ベルリオーズはフランス生まれ。一般にロマン派に分類されるのはベルリオーズとチャイコフスキー、プロコフィエフは近現代。また、ベルリオーズはパリ音楽院に入学する前は医学学校に、チャイコフスキーはパテルブルク音楽院に入学する前は、法律学校を卒業し、法務省の役人として働いていました。

新刊情報  
書籍

ピアニストのためのカラダの使い方バイブル  
〜アレクサンダー・テクニクを取り入れながら  
著: 伊東 佳美 (ピアニスト/ATI認定アレクサンダー・テクニク教師)

第1章 身体のことを知ろう  
〜アレクサンダー・テクニク  
■アレクサンダー・テクニク  
■身体「取扱説明書」

第2章 ピアノ演奏で実践  
■ピアノの構造  
■椅子の高さとピアノとの距離〜座り方  
■鍵盤に手を置く  
■指の特徴と使い方  
■脱力  
■さまざまな奏法

第3章 実践! 「トルコ行進曲」を弾こう  
■身体の使い方のポイント  
■モーツァルト「トルコ行進曲」奏法アナリゼ

■B5判/左開き/96頁/本体価格1,600円(税別)

伊東 佳美(いとうよしみ)  
★ピアニスト。ATI認定アレクサンダー・テクニク教師。大阪音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業後、ベルリンにてバスカル・ドワイヨン教授に師事。帰国後は、国内外においてソロ活動のほか、アンサンブル奏者としても演奏活動を行っている。一方で、国際アレクサンダー・テクニク協会(ATI)認定教師となり、アレクサンダー・テクニクの視点からピアノ演奏を見直し、自分の気持ちに沿った自然な身体の使い方やピアノを表現するテクニック、「インテグレーション・ピアノ・メソッド」を提唱。「脱力」を基本としたメソッドを指導している。